

研究・調査報告書

| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
|--|--------|--------------|
| C-179 | 16-315 | 慶應義塾大学 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| Performance of the Tobacco, Alcohol, Prescription Medication, and Other Substance Use (TAPS) Tool for Substance Use Screening in Primary Care Patients. プライマリケア患者におけるタバコ、アルコール、処方薬とその他の物質使用 (TAPS) 物質使用スクリーニングのためのツールの性能 | | |
| 執筆者 | | |
| McNeely J ¹ , Wu LT ¹ , Subramaniam G ¹ , Sharma G ¹ , Cathers LA ¹ , Svikis D ¹ , Sleiter L ¹ , Russell L ¹ , Nordeck C ¹ , Sharma A ¹ , O'Grady KE ¹ , Bouk LB ¹ , Cushing C ¹ , King J ¹ , Wahle A ¹ , Schwartz RP ¹ . | | |
| 掲載誌 | | |
| Ann Intern Med. 2016 Nov 15;165(10):690-699. doi: 10.7326/M16-0317. | | |
| キーワード | | PMID: |
| プライマリケア、タバコ、物質使用、物質乱用スクリーニング | | 27595276 |
| 要旨 | | |
| <p>背景: 物質使用は主要な疾患と死亡の原因であるが、医療において十分に把握されていない。</p> <p>目的: タバコ、アルコール、処方薬とその他の物質使用 (TAPS) を検出するためのツール (方法) は、短時間でスクリーニングと評価する方法を開発し、すべての一般的に用いられる物質を含んだ臨床ワークフローに適合する評価手段として開発された。本研究の目的は、プライマリケア患者で TAPS ツールの性能を評価することである。</p> <p>デザイン: 国立薬物乱用治療臨床試験ネットワーク (Drug Abuse Treatment Clinical Trials Network) の中の多施設によって TAPS ツールを参照基準と比較する研究を施行した (ClinicalTrials.gov : NCT02110693)。</p> <p>施設: 5つの成人プライマリケア・クリニック。</p> <p>参加者: クリニックの待合い所で連続的に募集した 2000 例の成人患者。</p> <p>測定: インタビュアーによる TAPS ツールと自己管理による TAPS ツールの 2つのバージョンが問題使用と薬物濫用障害 (SUD) を測定する標準的な方法 (修飾された World Mental Health Composite International Diagnostic Interview (CIDI)) を対照として比較された。</p> <p>結果: インタビュアーと TAPS ツールの自己管理バージョンには、類似の診断特徴があった。問題使用 (1+のカットオフ) を同定するために、TAPS ツールは、タバコでは 0.87 (CI、0.85~0.89) と 0.93 (95%CI、0.90~0.95) の特異性と感度を、アルコールでは 0.79 (CI、0.76~0.81) の 0.74 (CI、0.70~0.78) と特異性の感度を持った。違法および処方薬の問題使用では、感度はマリファナで 0.82 (CI、0.76~0.87)、鎮静剤で 0.63 (CI、0.47~0.78) であり; 特異性は、両者とも 0.93 以上であった。全ての SUD を確認するために (2+のカットオフで)、感度はより低かった。</p> <p>限界: 一部の薬クラスでは使用が少なく、若干の推定値で低い精度につながった。彼らが CIDI を与えたとき、研究助手は参加者の TAPS ツール反応を見失わなかった。</p> <p>結論: 成人のプライマリケアという患者の多様な集団において、TAPS ツールは臨床的に関連する問題物質の使用を検出した。タバコ、アルコールとマリファナの使用障害を発見する可能性があるが、それが広く SUD スクリーニングに推薦されるためには更なる改良が必要である。</p> | | |